

虐待シグナルを感じたら、 ためらわないで連絡を！

連絡した人の
秘密は
守られます

★人口10万人あたりの虐待相談件数は、全国や大阪府より多い！

ニュースや新聞で耳にする虐待事件。痛ましい内容に思わず目を背けたくなることも多いのではないのでしょうか。皆さんの周りではどうでしょう。

市の子育て支援課や高齢介護課が把握するデータなどを分析すると、松原市の児童虐待・高齢者虐待にかかる人口10万人あたりの相談件数（2009年度・2010年度）は、全国や大阪府に比べて多いことがわかりました（ただし、実虐待件数での比較ではありません。また関係機関との連携ができていないとも言えます）。

そのため、子どもの安全対策委員会・高齢者の安全対策委員会では重点課題として取り組んでいます。

★育児支援の充実と認知症の正しい理解に取り組んでいきます

子育て支援課に寄せられる児童虐待にかかる2009年度・2010年度の相談内容を分析すると、虐待者の約70%が実母であり、虐待の種類としては、ネグレクトと呼ばれる保護の怠慢・育児拒否が約50%を占めていることが

わかりました。

この特徴を踏まえ、母親の育児負担を軽減させるため、相談場所の周知や相談機会の充実に取り組んでいくことに決定しました。

また、高齢介護課に寄せられる高齢者虐待にかかる相談内容を分析すると、虐待を受けている高齢者の64.1%が認知症を患っていることがわかりました。

この特徴から、認知症と虐待の正しい理解・啓発に努め、早期発見のためのネットワークづくりに取り組んでいくことに決定しました。

★早期発見にご協力を！

児童虐待・高齢者虐待ともに大切なのは、早期発見です。虐待については、虐待をする側も心身ともに疲労し追い詰められていることが多く、専門家などの第三者が介入することで解決するケースも少なくありません。

虐待を感じるためのシグナルはさまざまです。その一例（下記参照）をご紹介します。

問合せ 市民安全課、子育て支援課、高齢介護課

●児童虐待 虐待シグナルチェック

（日常の様子）

- 虐待（叩いたり、罵声を浴びせるなど）を目撃
- 子どもを登校させず、食事を与えられていない
- 家の中が不衛生
- 保護者がDVを受けている

（子どもの様子）

- 不自然なあざや傷がある
- 衣服が汚れている、季節はずれの服装
- 元気がなく表情が暗い
- 年齢にそぐわない性的な言動がみられる

●高齢者虐待 虐待シグナルチェック

- 自宅から高齢者や介護者・家族の怒鳴り声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる
- 郵便受けや玄関先などが、1週間前の手紙や新聞で一杯になっていたり、電気メーターが回っていない
- 気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる
- 家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパーなどで、一人分のお弁当などを頻繁に買っている
- 近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる
- 高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる

シグナルを感知したら、
ためらわずに相談機関へ!!

▶相談機関連絡先一覧

児童虐待		高齢者虐待	
富田林子ども家庭センター	☎0721-25-1131	松原市高齢介護課	☎072-337-3113
松原市子育て支援課	☎072-334-1550(代)	松原市地域包括支援センター徳洲会	☎072-334-3439
児童相談所全国共通ダイヤル	☎0570-064-000	松原市地域包括支援センター社会福祉協議会	☎072-349-2112